

第331号

こ う げ ん

2022年
8月号

発行：高原公民館(〒696-0406 邑南町高見 3014-3) TEL 0855-84-0521 IP 050-5207-5500



2月に香木の森に設置された遊具の使用中に事故が起こり、町内の遊具を使用中止し、順次点検を受けてきました。高原公民館の敷地内にある遊具も点検を受け、4基の遊具のうち、1.ジャングルジム 2.シーソー 3.滑り台を撤去することとなりました。撤去時期は未定ですが、今年

今までありがとうございます!!
遊具を撤去します



中には撤去する方向で動いていきます。また、ブランコについては、撤去の必要はありませんが、使用するためには塗装の塗り直し等のメンテナンスが必要のため、継続して使用ができません。今しばらくお待ちください。



満を持して!!
ドームテントお披露目

新型コロナウイルス感染症の流行により延期となっていたドームテントの組み立てとお披露目会が、8月5日(金)に行われました。これは、地区別戦略実施団体「高原を楽しくする会」と石見養護学校の生徒が、地元のハデ木を再利用して制作したもので、9月はじめ頃まで公民館の正面玄関に設置しています。夜はライトアップもされているので、撤収されるまでに一度は見に来てみてください。

高原小学校 146 周年記念事業

本年度、高原小学校は創立 146 周年を迎えます。例年子ども達対象に郷土歴史学習を行ってきておりましたが本年度から地域を「知る」に加え「地域の良さを発信する」子ども達を育てていきたいという事で「たかはら子どもアンバサダープログラム」を作りました。

1 目的

- ①高原地区の歴史や風土などを知ってもらい、自分の住む地域に愛着と誇りを持てる子ども達を育てる。
- ②高原地区の歴史や風土について学んだことを地域外の人たちにも自信をもって伝えていける子ども達を育てる。

2 定義

たかはら子どもアンバサダーは、高原地区の歴史や風土、人物を学び、まとめ、発信していく小学生、中学生、高校生も含むとする。認定者は、「地域団体 たかはらんど」とする。

3 認定条件

次の①から③の条件をみたすこと。

- ①今年度中に行われるたかはら子どもアンバサダー認定事業に1つでも参加すること。
- ②活動で学んだことを指定したいくつかの方法でまとめること。
- ③地域団体 たかはらんどが主催するイベントに参加し、参加者に学びを発表すること。

4 活動内容

- ①「たかはら子どもアンバサダー」と胸を張って名乗ること。
- ②指定するフリーペーパー、SNSなどで高原の歴史や風土人物について発信すること。
- ③積極的に友達を誘ってイベントに参加すること。
- ④高原地区外の人たちに自信をもって地元高原の良さを伝えること。

地域団体 たかはらんどスケジュール（◎=たかはら子どもアンバサダー認定事業）

- 1 8月10日 川の生き物観察会◎
- 2 9月05日 郷土学習勉強会◎
- 3 9月12日 郷土学習フィールドワーク◎
- 4 10月29日 星空観察会（高原公民館共同開催）
- 5 11月21日 たかはら市前夜祭
- 6 11月23日 たかはら市～肉を喰う会 2022～



地域団体 たかはらんど からお知らせです

高原小学校を支えてくださる地域の方へ

この度、高原小学校創立146周年事業としまして3つの事業を考えております。

- 1 創立146周年記念メモリアル短冊モニュメント（9月頃～）
地域の方による高原小学校への想いを記したコメント短冊モニュメントの設置
9月頃～高原公民館に設置する予定ですので、高原小学校への想いをご記入下さい。
- 2 創立146周年記念看板設置（12月頃～）
地域にある史跡などに史跡の説明看板を設置していきます。本年度は2基設置予定。
来年から150周年まで毎年1基ずつ設置していく予定です。

★説明看板設置候補★

①「星ヶ丘グラウンドの由来」高見

星ヶ丘グラウンドは高原小学校設立当時、子ども達の為ということで高原地区民総出で作り上げた地域の方の想いがめっちゃめっちゃもっている手作りグラウンドです。

今一度高原小学校がある意義・意味について再確認していきたいと思います。

②現在調整中です。

- 3 創立146周年記念木製カレンダー進呈（12月頃～）
かつては高原小学校創立90周年の記念式典が行われ四半世紀が経ちました。その先人達の想いを忘れないように創立150周年まで使える木製カレンダーを製作して小学校に寄付したいと思います。
- 4 幼少期など高原地域の思い出の写真の掲示
高原小学校の校舎や一本松など、高原地域で撮影したことがわかる写真を高原公民館へ掲示する予定です。ぜひご家族や本人の若かりし頃の写真をお持ちください。写真は写しを取ってその場でお返しします。



よつちゃん館長の「今日」の頃

やれやれイノシシがあちらこちらで暴れましたね。田んぼに入って稲が踏み倒されているのが見かけられます。「網メッシュとトタン、電柵までやっているのに入ってやれん。いったいどうすりゃえんかいのお」と嘆く方もおられます。私に聞いてもうとうてもどうしようもないのですが、本当に私も困っています。夜中に暑いので網戸で寝ていたら裏の山の方でイノシシの子どもと思われる鳴き声とガサガサと言う音が聞こえるじゃありませんか。両手で手のひらが痛いほどパンパンと手を叩くと、イノシシが奥の方に走って逃げる音がしました。毎晩これじゃあ身が持ちませんわ。夜だけじゃなくて昼間でも田んぼに入るようなので電柵も一日中電気を流すことにしました。私の家の周りでは電柵に触らないよう気を付けてくださいますね。



組んでいくことが必要であり、都道府県が地域の実情に応じた判断により対策を強化し、国はその取組を支援する。」としています。国はそのまま感染者の高止まりが続く、医療がひっ迫すれば社会経済対策の両立どころではないように思っています。「コロナによる死亡者も増大してきています。本当にこれで良いのでしょうか？ここにきて国は本気で真剣にコロナ対策を行ってほしいと思います。何か国は今までのような本気度が感じられないよう気がしてならないのですが、皆さんはどう思われますか。

高原地区の人口と世帯数

令和4年7月末現在(前年同月)

男 性	3 8 7 人 (3 8 8 人)
女 性	4 1 6 人 (4 1 7 人)
合 計	8 0 3 人 (8 0 5 人)
世帯数	3 5 6 世帯 (3 4 8 世帯)
高齢化率	4 5 . 9 5 %

たかきち主事のイラストを描いてもらいました[いやにリアル]
今後公民館事業等で登場しますので楽しみにしてください★

たか
きち

